

令和5年度 第1回三重県感染対策支援ネットワーク研修会
令和5年10月1日（日）

三重県抗菌薬サーベイランス (MACS) 事業報告 (2022年)



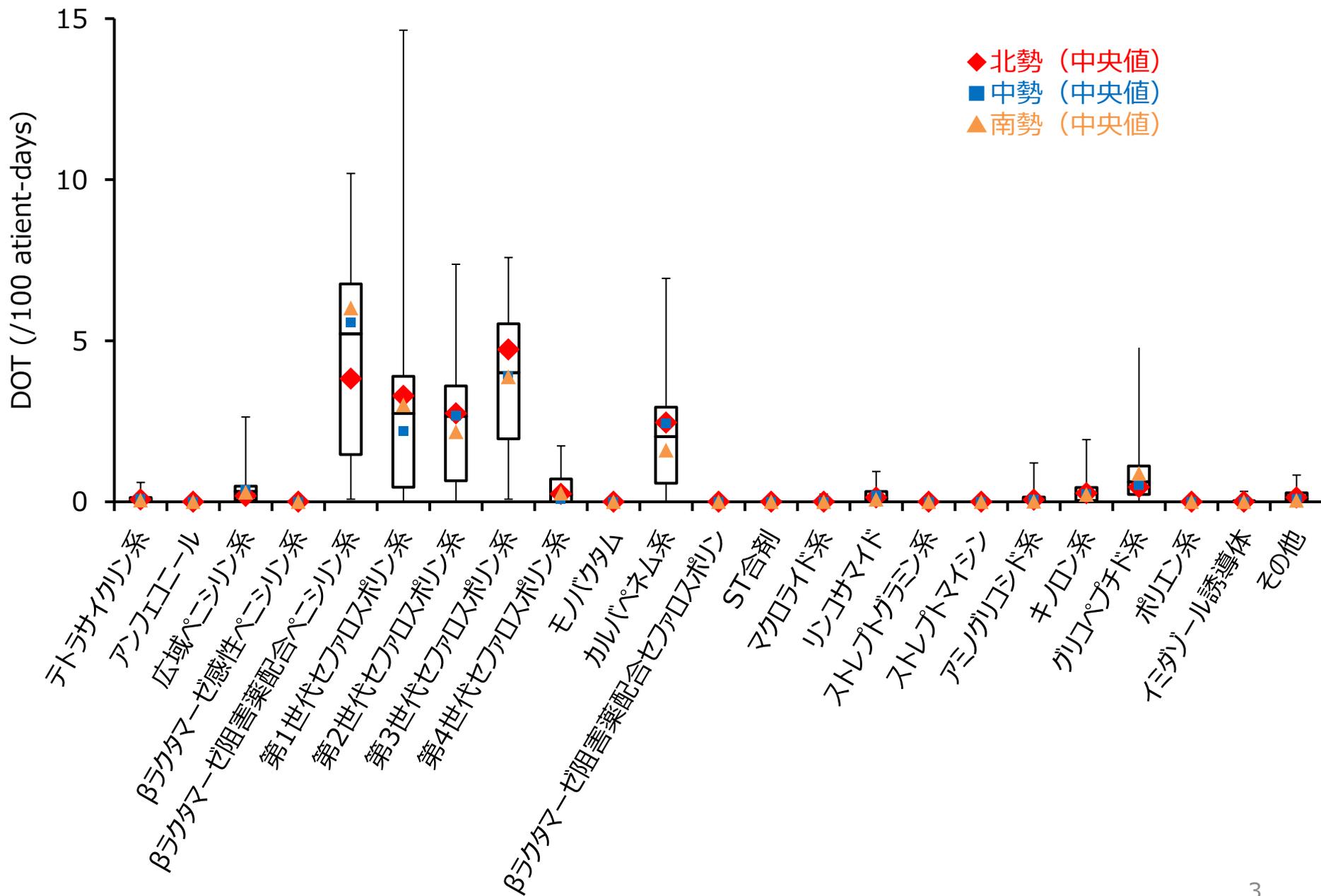
三重県感染対策支援ネットワーク

Mie I C Net

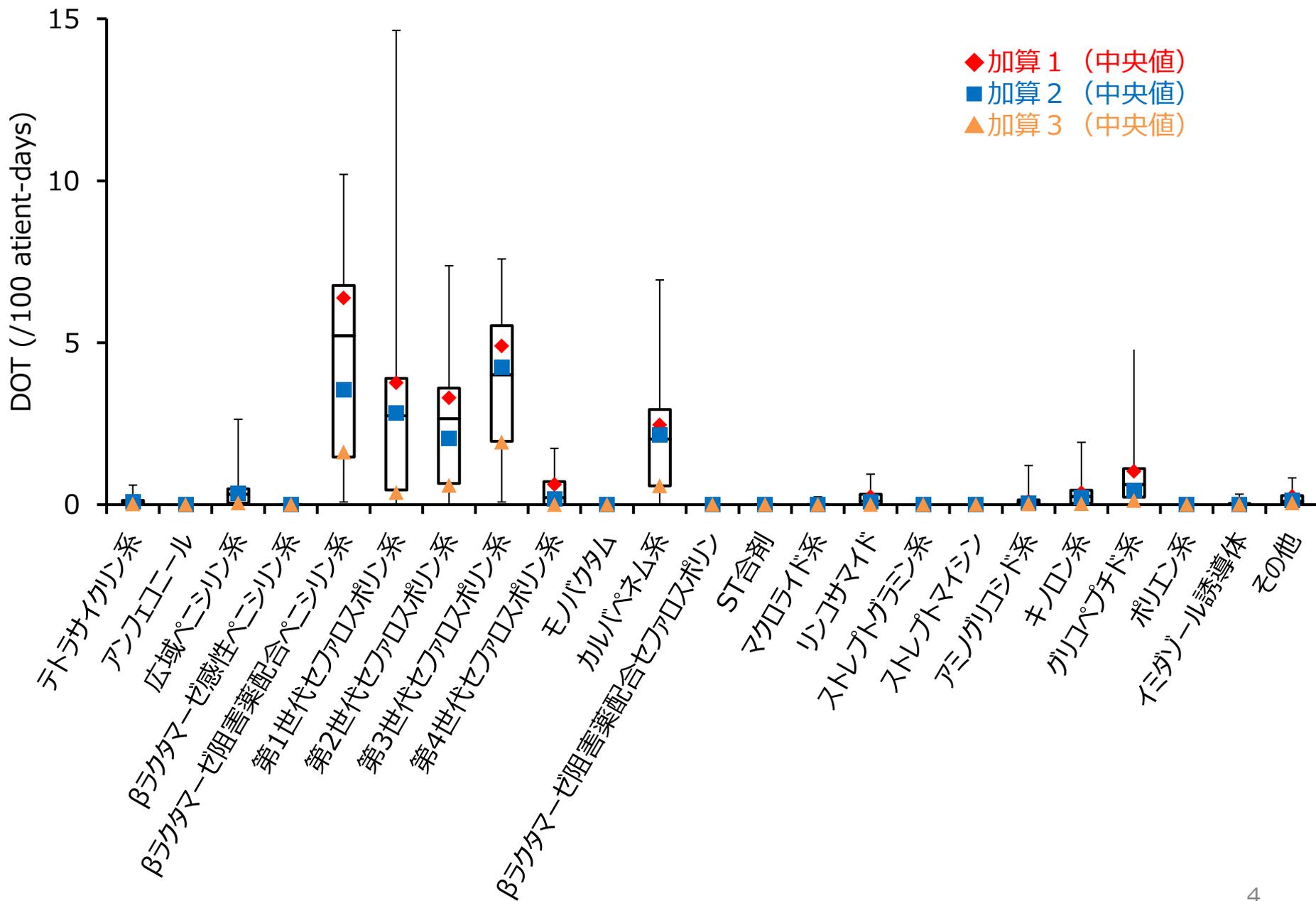
MACS参加施設数

2次医療圏	加算	2020年	2021年	2022年
北勢	加算1	5	7	6
	加算2	1	2	2
	加算3	-	-	4
	加算なし	0	1	1
小計（北勢）		6施設	10施設	13施設
中勢	加算1	6	6	7
	加算2	0	1	2
	加算3	-	-	4
小計（中勢）		6施設	7施設	13施設
南勢	加算1	5	6	6
	加算2	-	1	2
	加算3	-	-	5
	加算なし	0	0	1
小計（南勢）		5施設	7施設	14施設
総参加施設数		17施設	24施設	40施設

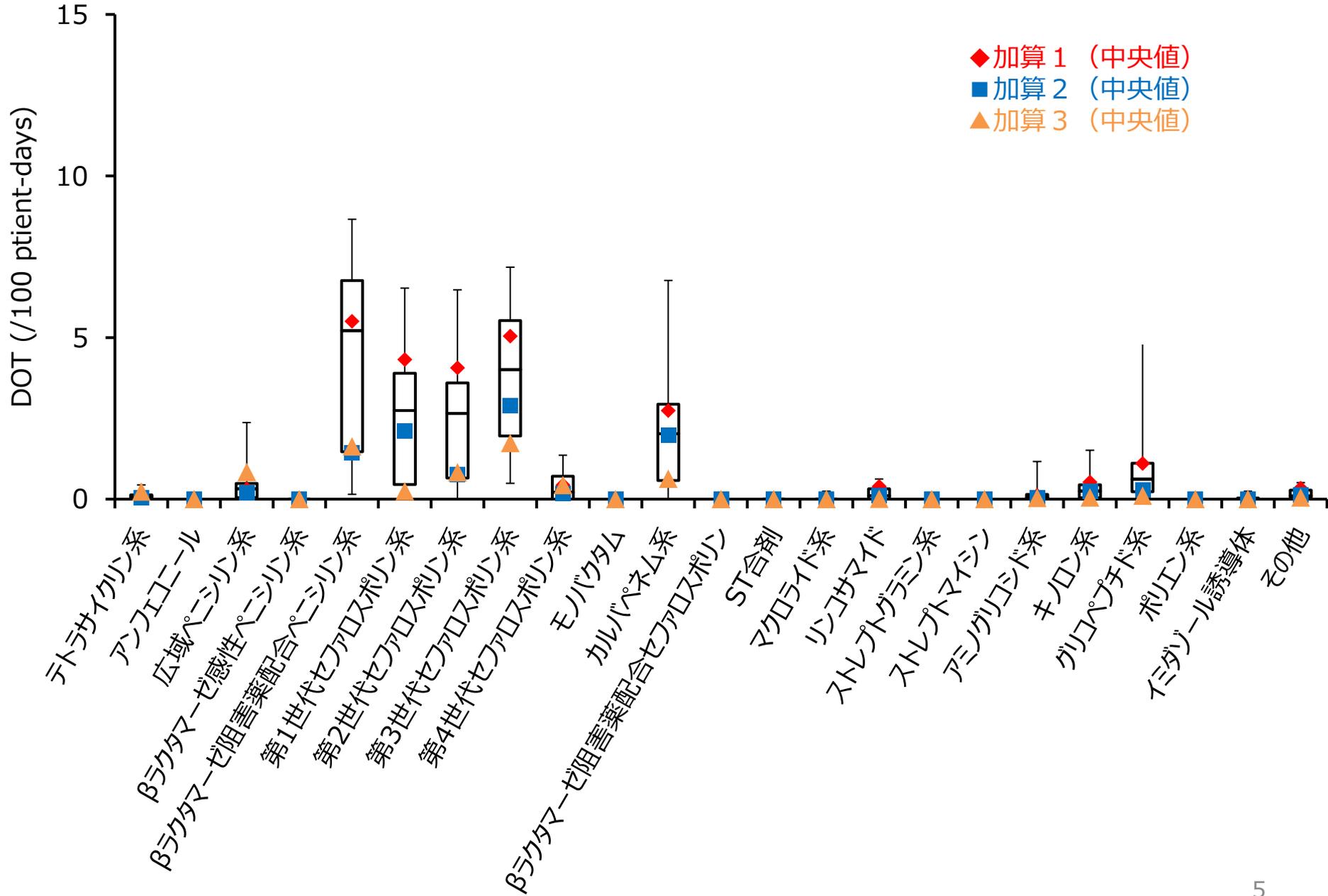
【結果①-1】 MACS参加施設における2022年のDOT (県全体・地区別)



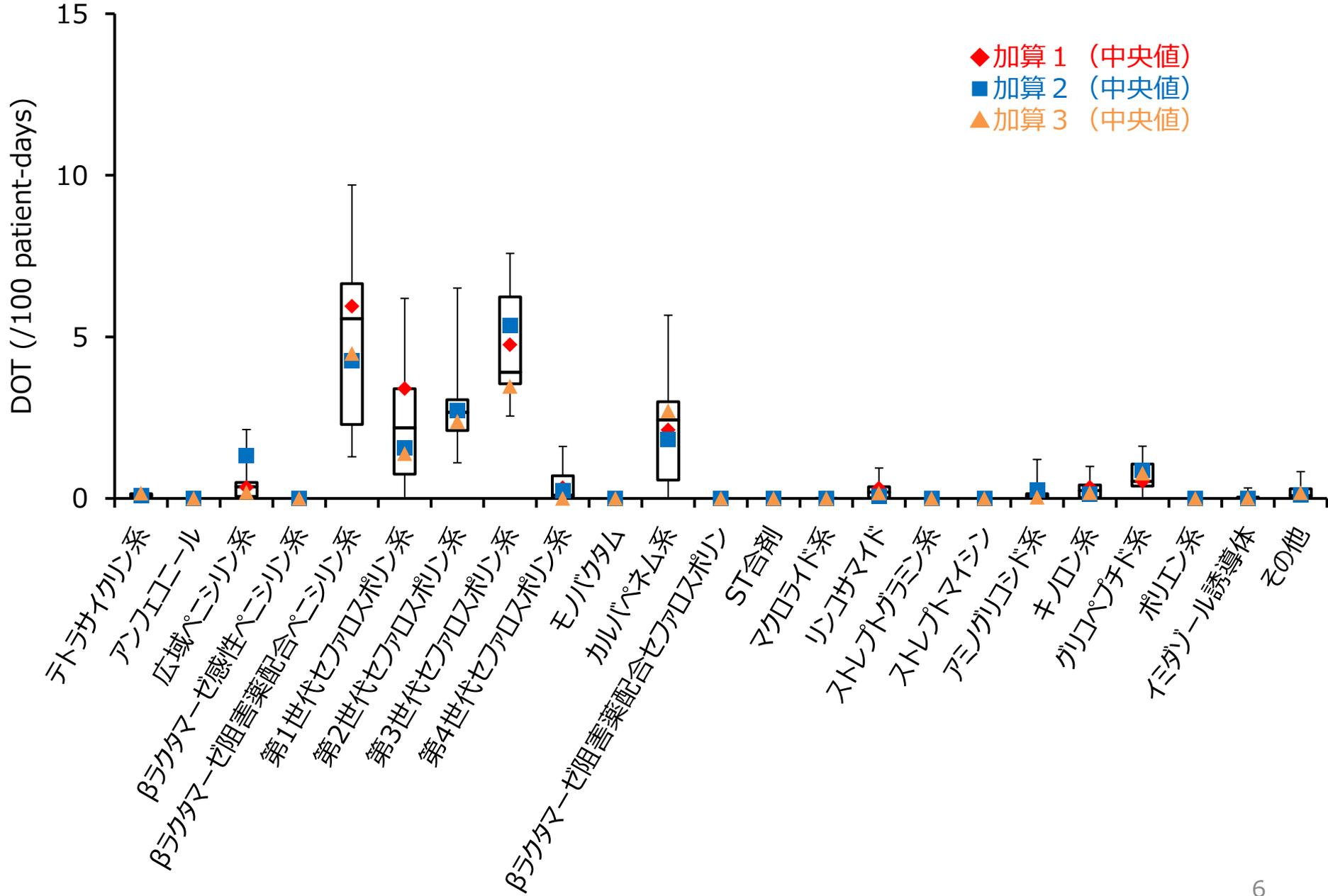
【結果①-2】 MACS参加施設における2022年のDOT (県全体・加算別)



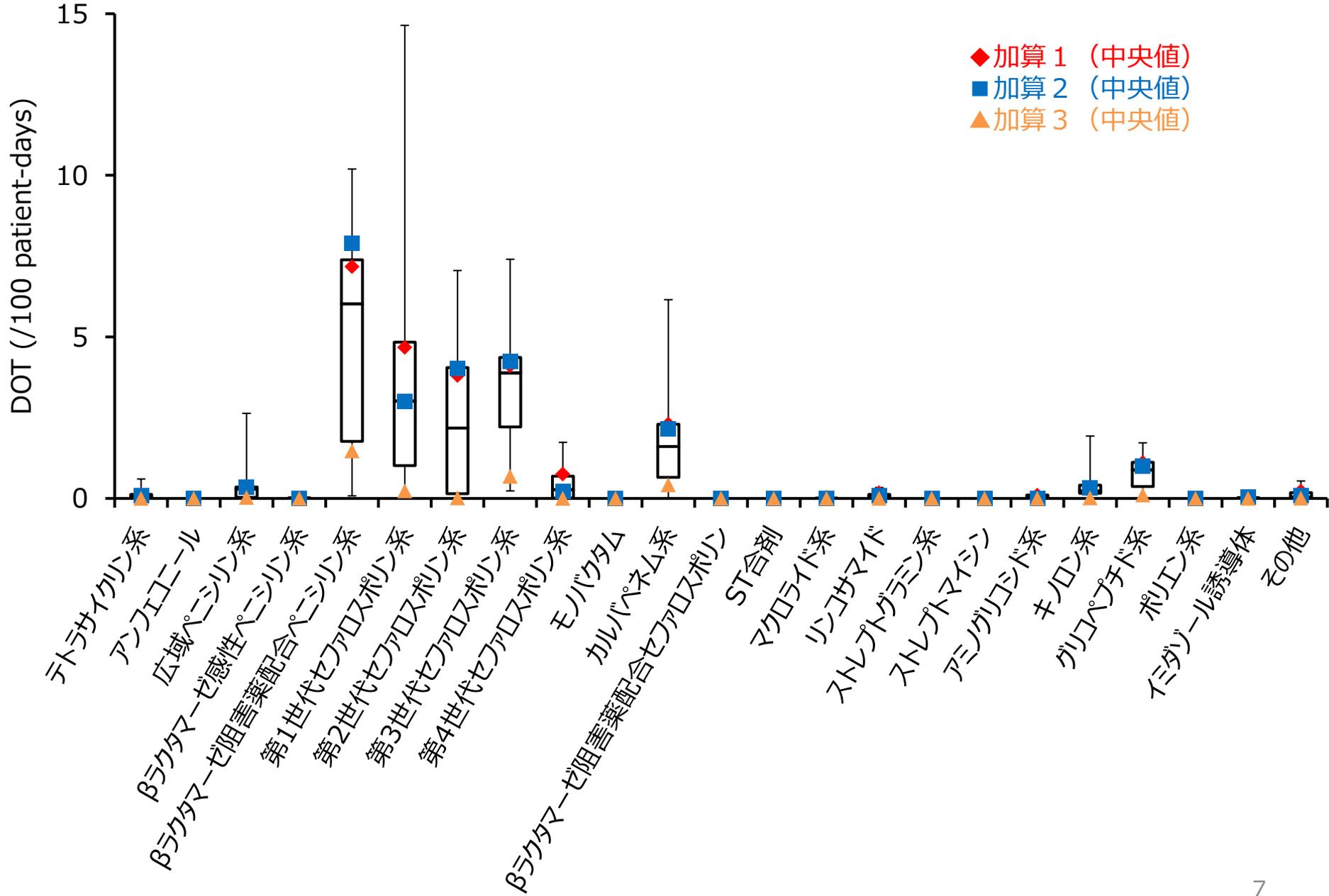
【結果①-3】 MACS参加施設における2022年のDOT（北勢地区）



【結果①-4】 MACS参加施設における2022年のDOT（中勢地区）

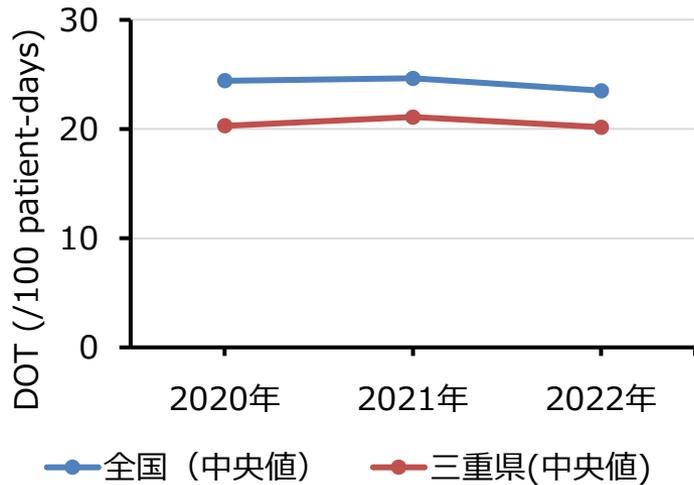


【結果①-5】 MACS参加施設における2022年のDOT（南勢地区）

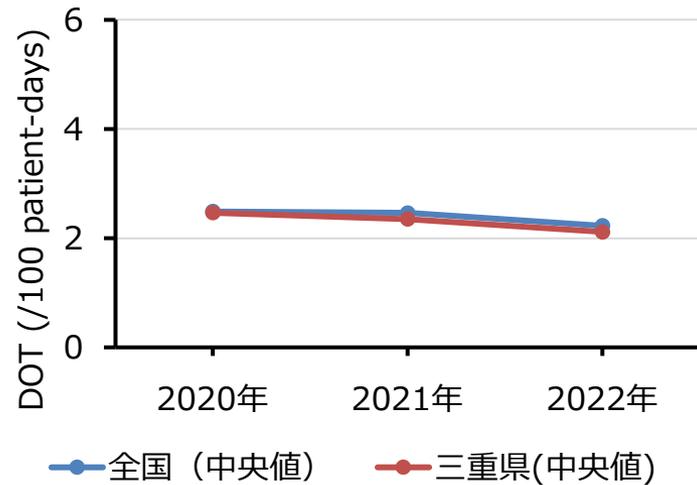


【結果②-1】抗菌薬使用動向経年の推移（三重県・全国）

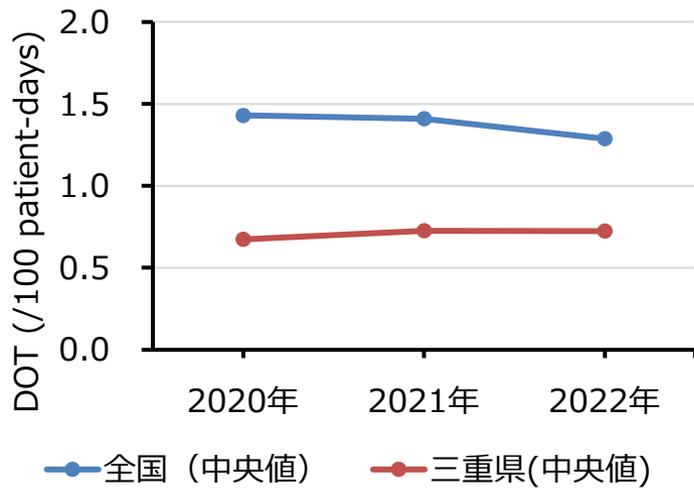
【静注用抗菌薬全体】



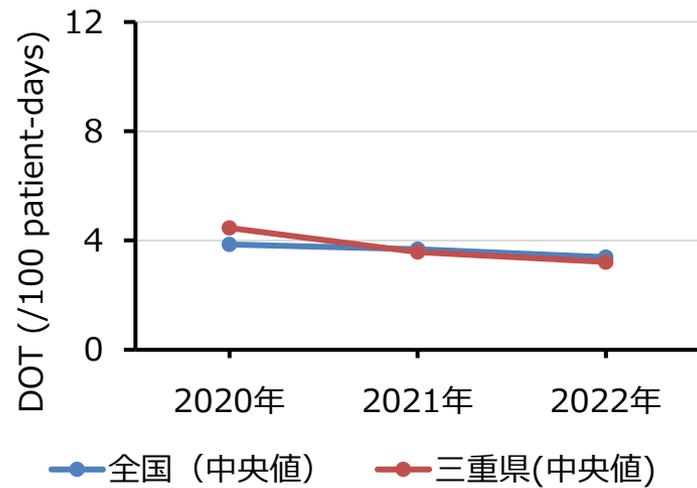
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



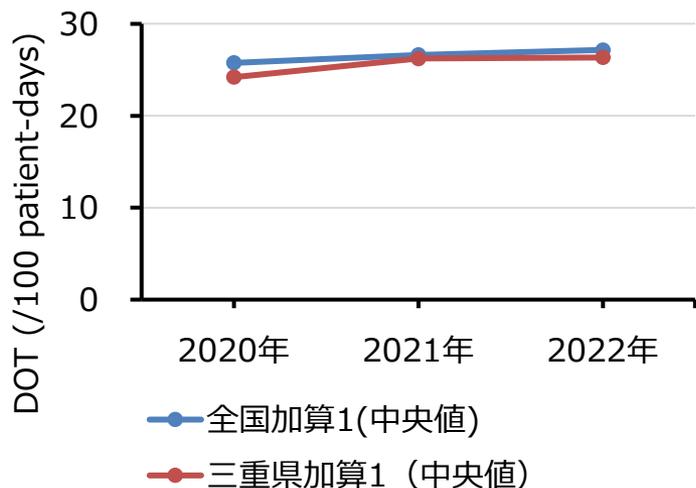
【キノロン系薬（静注+内服）】



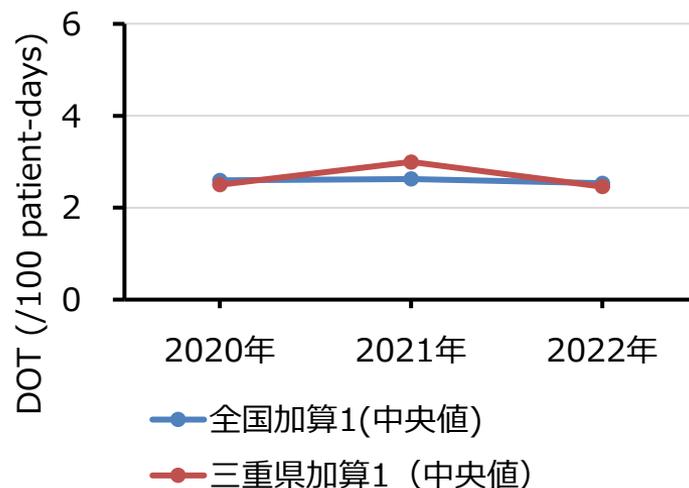
三重県：2020年 17施設、2021年 24施設、2022年 40施設

【結果②-2】 抗菌薬使用動向経年の推移（加算1：三重県・全国）

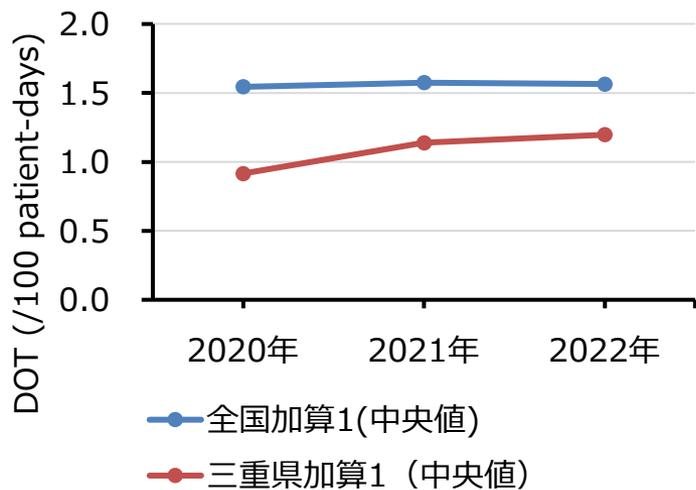
【静注用抗菌薬全体】



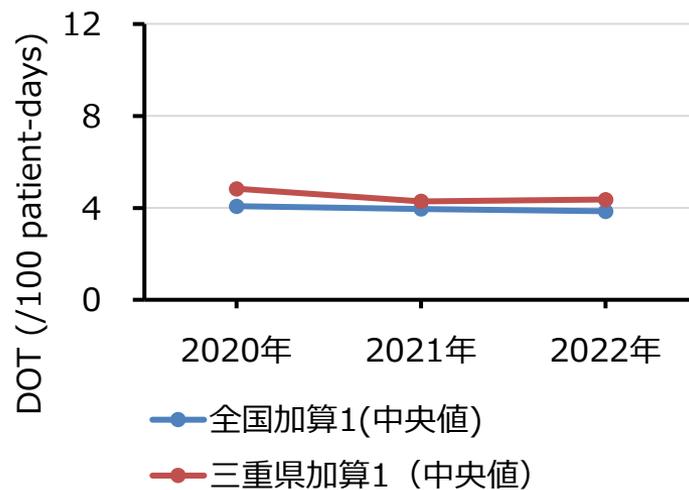
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



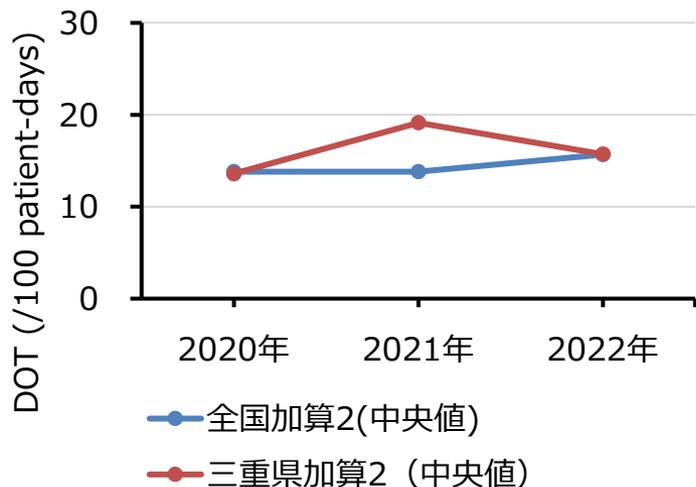
【キノロン系薬（静注+内服）】



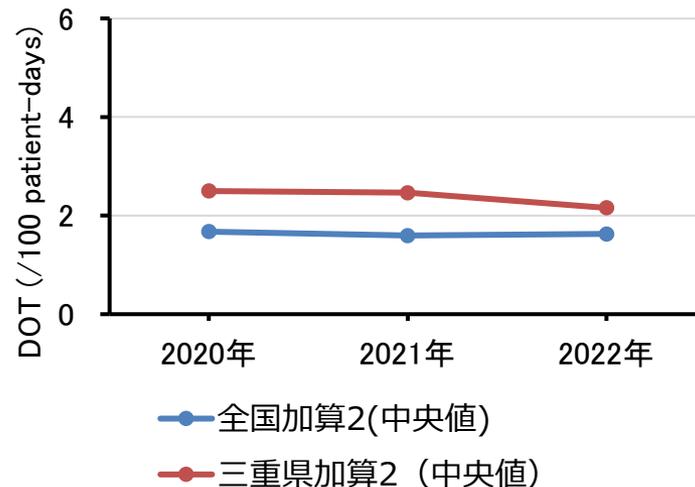
三重県加算1： 2020年 16施設、2021年 19施設、2022年 19施設

【結果②-3】抗菌薬使用動向経年の推移（加算2：三重県・全国）

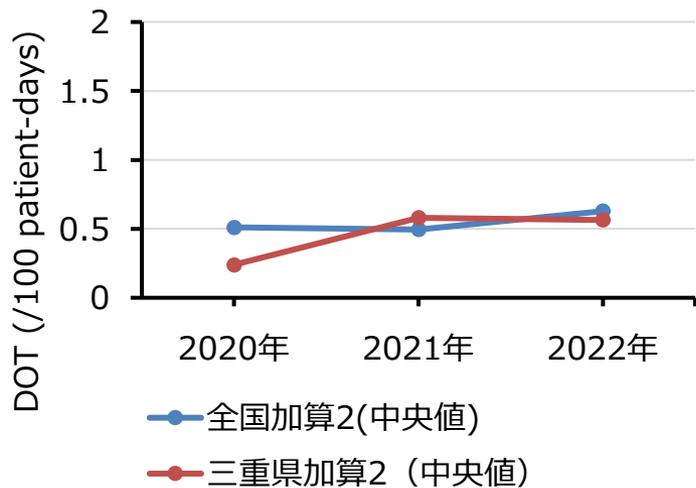
【静注用抗菌薬全体】



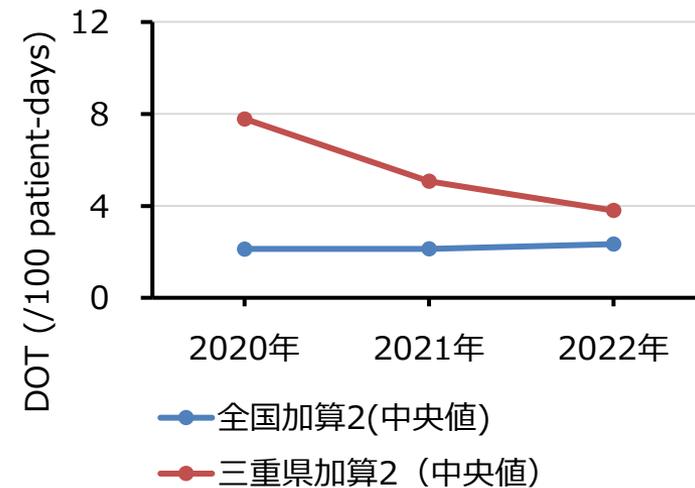
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



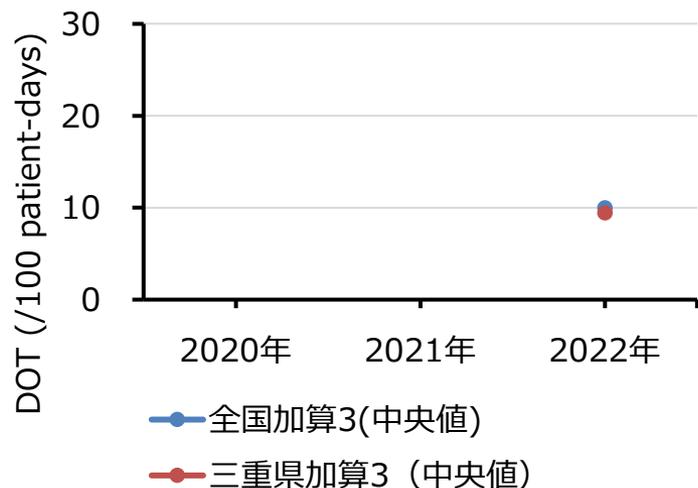
【キノロン系薬（静注+内服）】



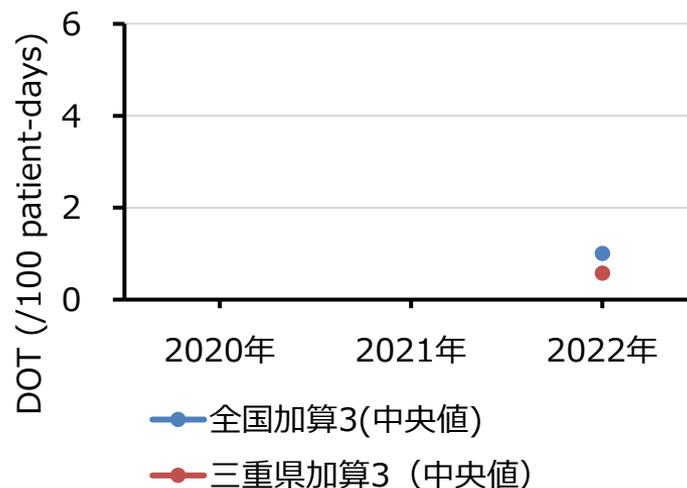
三重県加算2：2020年 1施設、2021年 3施設、2022年 6施設

【結果②-4】 抗菌薬使用動向経年の推移 (加算3：三重県・全国)

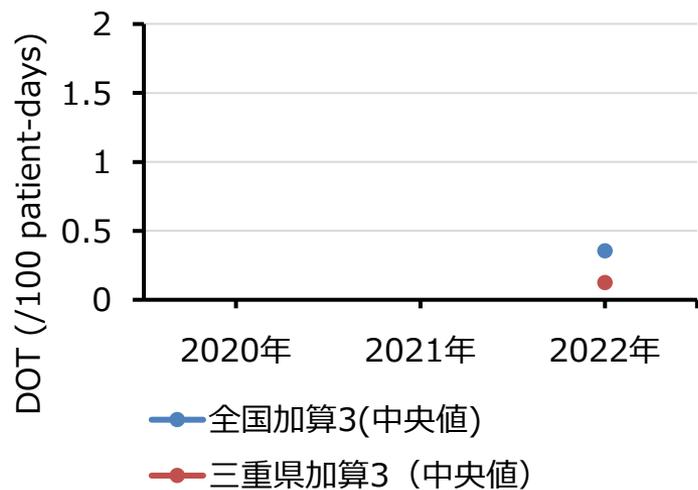
【静注用抗菌薬全体】



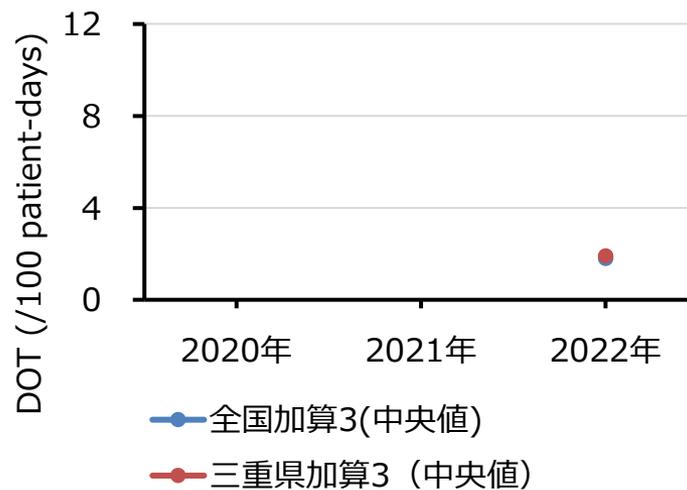
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



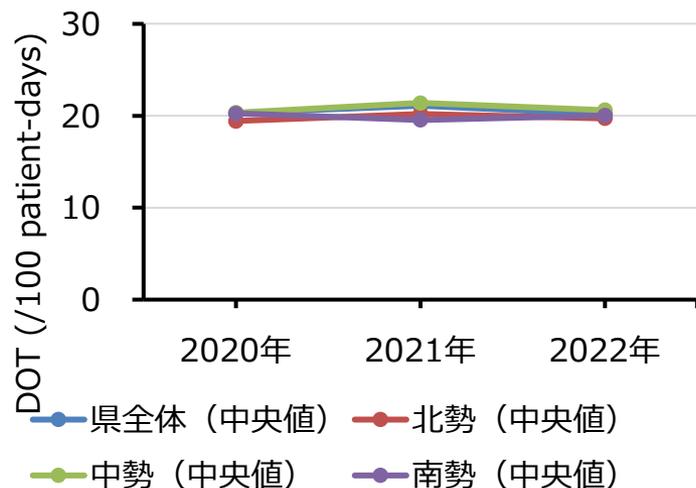
【キノロン系薬 (静注+内服)】



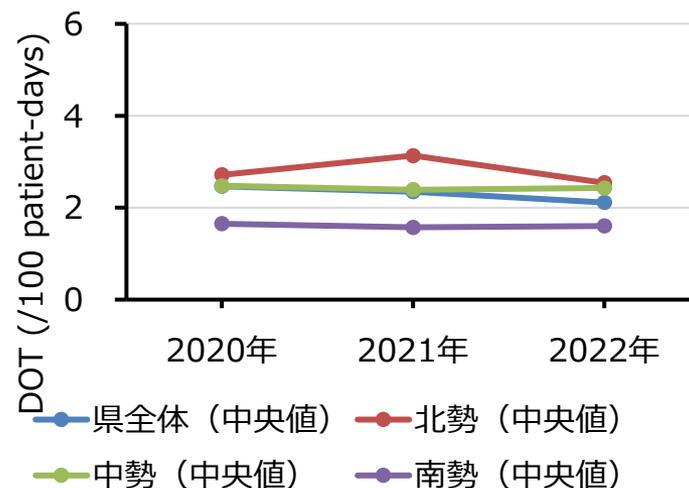
加算3：2022年 13施設

【結果②-5】抗菌薬使用動向経年の推移（県全体・地区別）

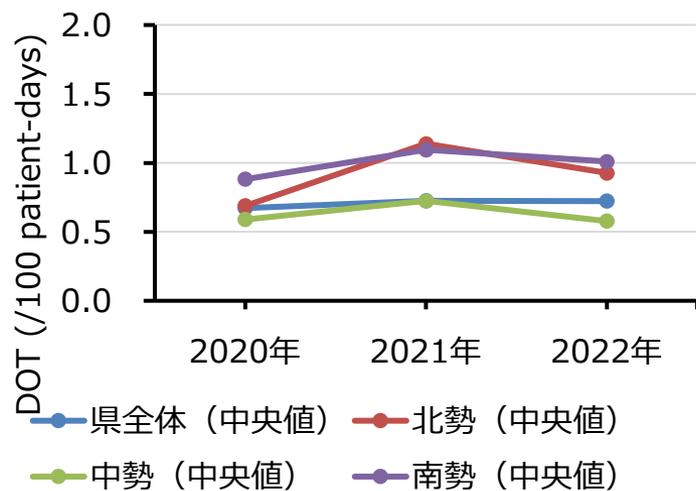
【静注用抗菌薬全体】



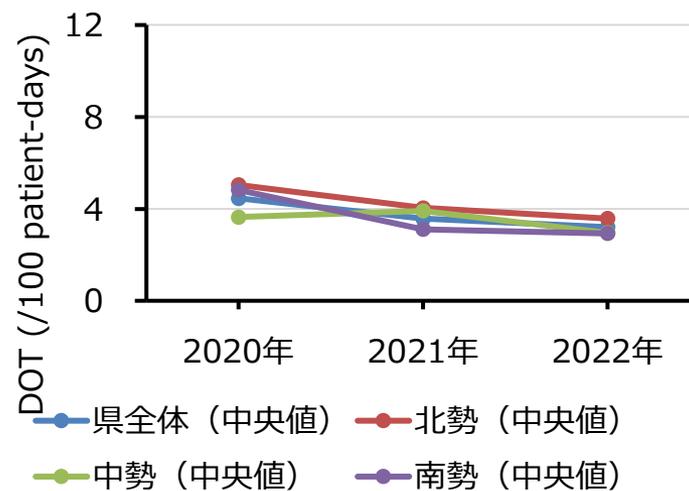
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



【キノロン系薬（静注+内服）】

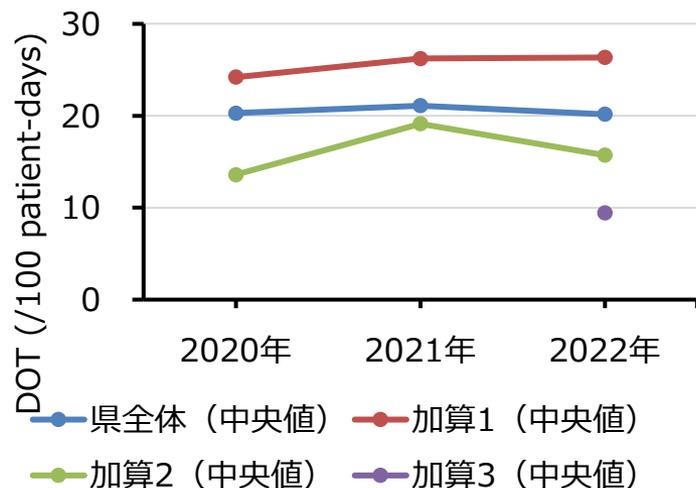


県全体：2020年 17施設、2021年 24施設、2022年 40施設
 北勢：2020年 6施設、2021年 10施設、2022年 13施設

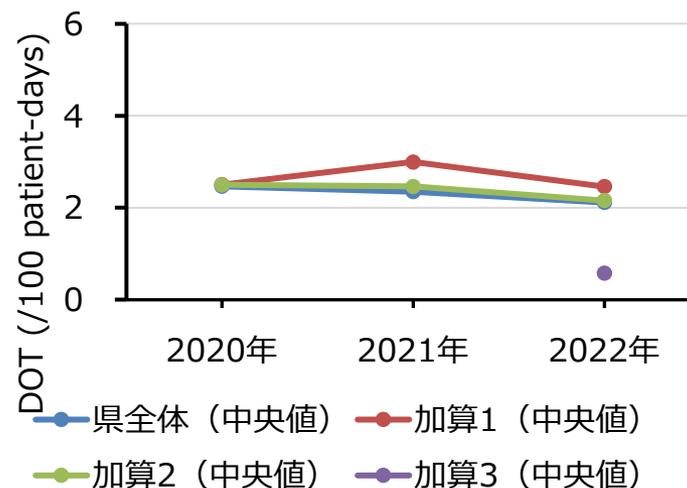
中勢：2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 13施設
 南勢：2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 14施設

【結果②-6】抗菌薬使用動向経年の推移（県全体・加算別）

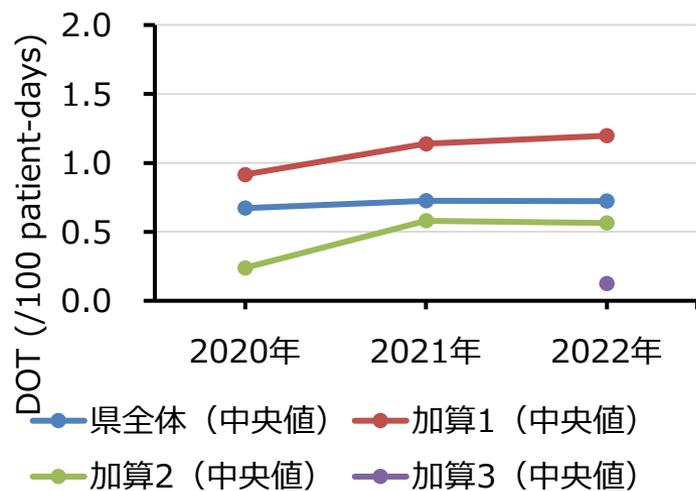
【静注用抗菌薬全体】



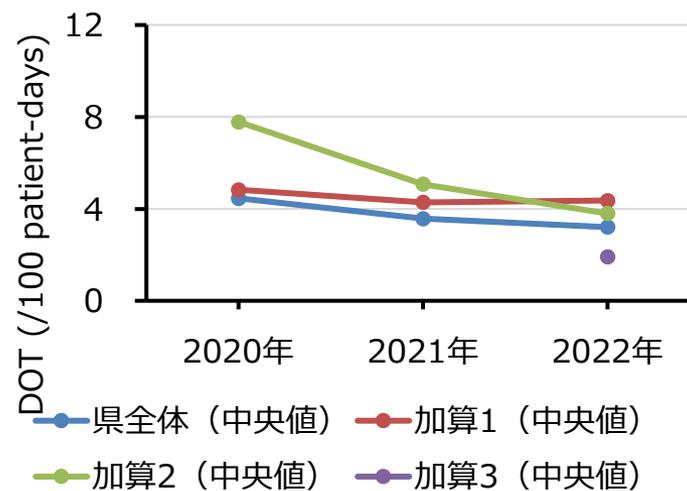
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



【キノロン系薬（静注+内服）】

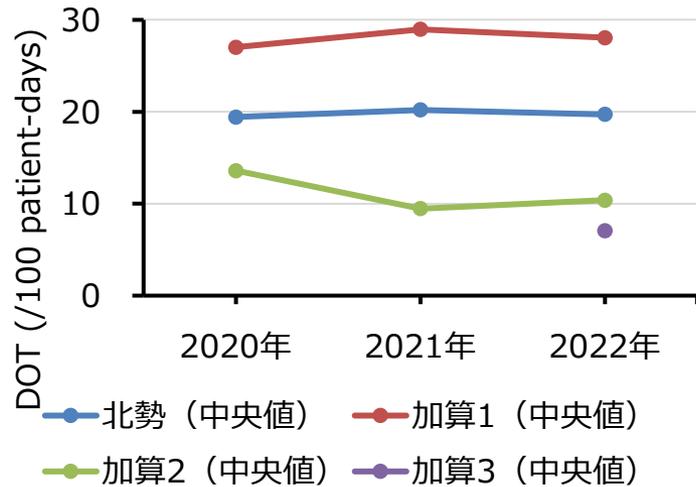


県全体：2020年 17施設、2021年 24施設、2022年 40施設
 加算1：2020年 16施設、2021年 19施設、2022年 19施設

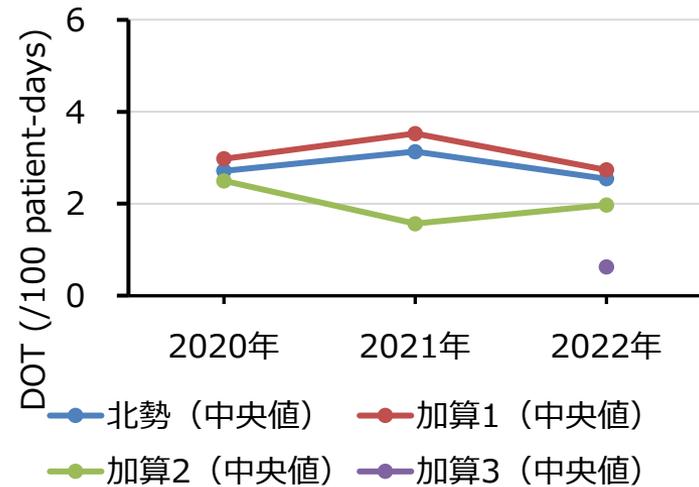
加算2：2020年 1施設、2021年 3施設、2022年 6施設
 加算3：2022年 13施設

【結果②-7】 抗菌薬使用動向経年の推移（北勢・加算別）

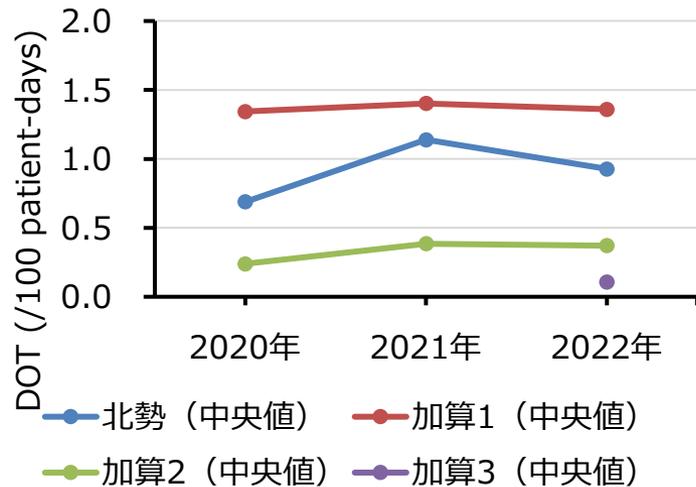
【静注用抗菌薬全体】



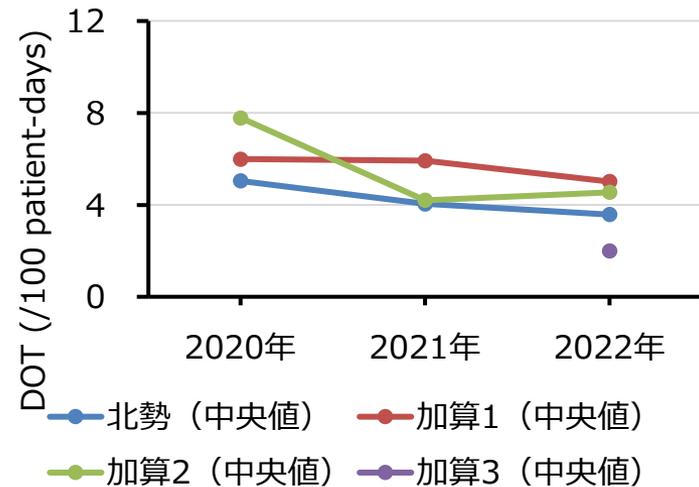
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



【キノロン系薬（静注+内服）】

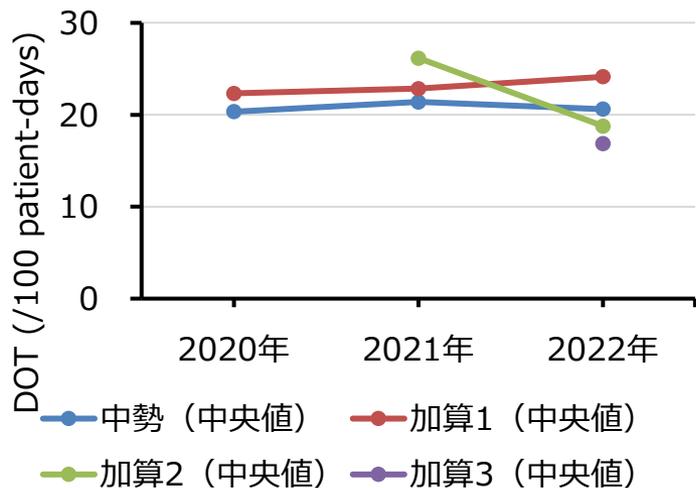


北勢： 2020年 6施設、2021年 10施設、2022年 13施設
 加算1： 2020年 5施設、2021年 7施設、2022年 6施設

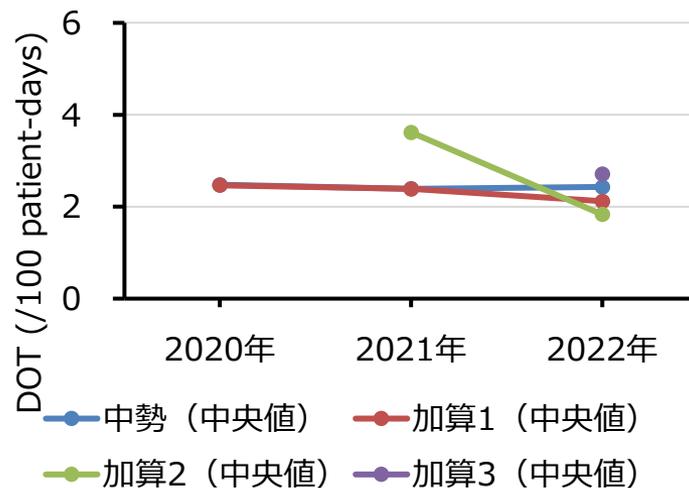
加算2： 2020年 1施設、2021年 2施設、2022年 2施設
 加算3： 2022年 4施設

【結果②-8】抗菌薬使用動向経年の推移（中勢・加算別）

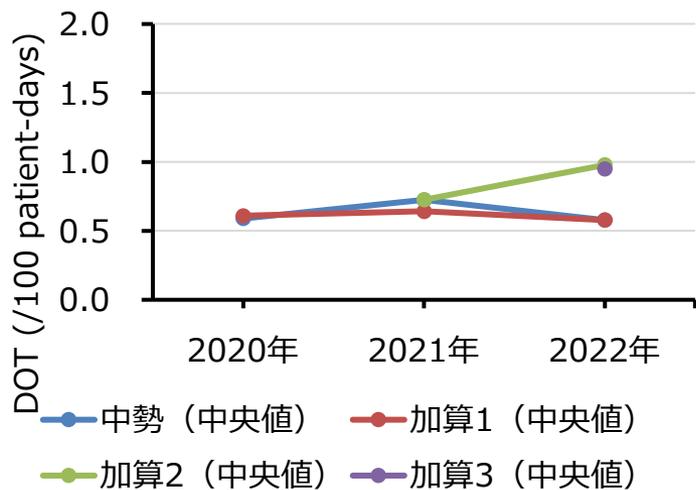
【静注用抗菌薬全体】



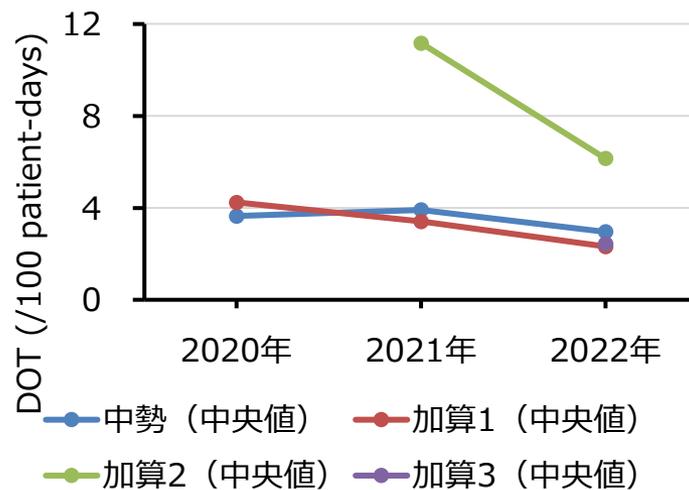
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



【キノロン系薬（静注+内服）】

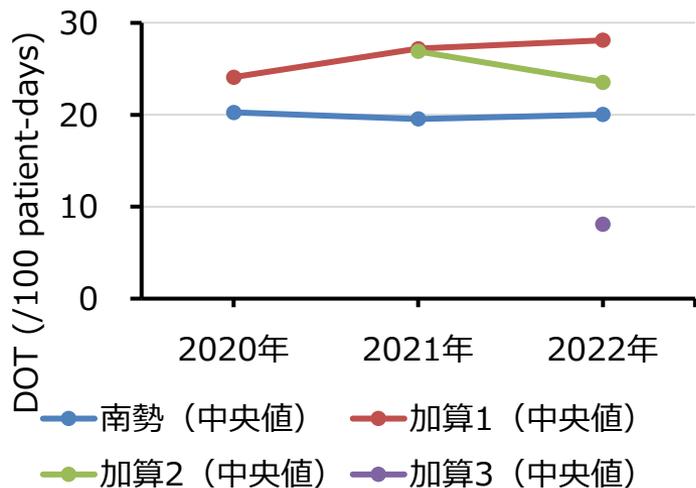


中勢： 2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 13施設
 加算1： 2020年 6施設、2021年 6施設、2022年 7施設

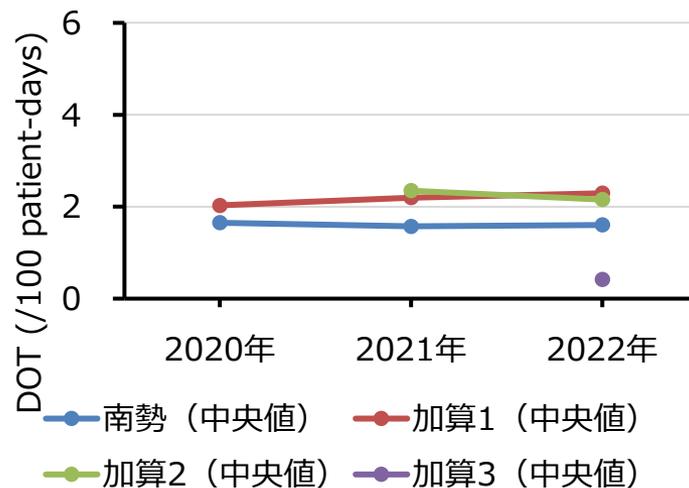
加算2： 2021年 1施設、2022年 2施設
 加算3： 2022年 4施設

【結果②-9】抗菌薬使用動向経年の推移（南勢・加算別）

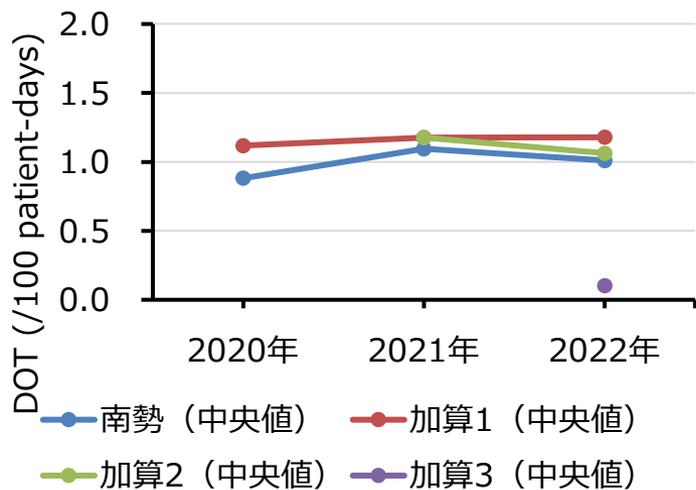
【静注用抗菌薬全体】



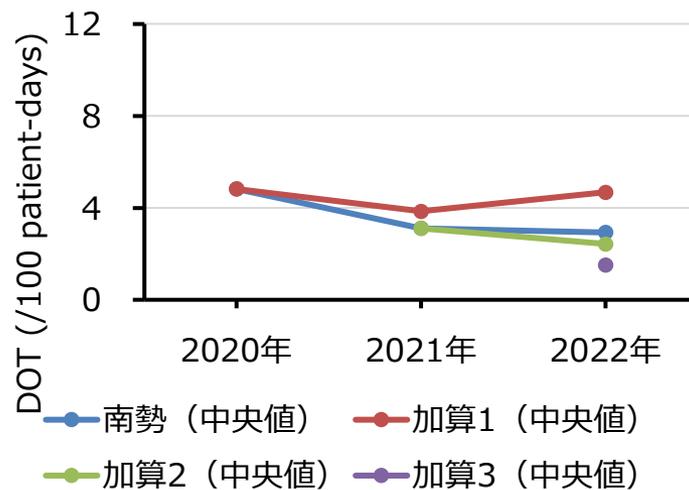
【カルバペネム系薬】



【抗MRSA薬】



【キノロン系薬（静注+内服）】



南勢： 2020年 5施設、2021年 7施設、2022年 14施設
 加算1： 2020年 5施設、2021年 6施設、2022年 6施設

加算2： 2021年 1施設、2022年 2施設
 加算3： 2022年 5施設

【まとめ】

- MACS参加施設数は経年的な増加がみられ、より実態に近い地域の抗菌薬使用動向を把握できるようになってきていると考えられた。
- プラットフォームをJ-SIPHEに移行することにより、全国および三重県内地域（北勢・中勢・南勢）間で抗菌薬使用動向を比較できるようになった。
- 三重県の抗菌薬総使用日数（静注用抗菌薬全体、抗MRSA薬、カルバペネム系薬、キノロン系薬（静注および内服））は、全国平均と同程度もしくは平均以下であることが示された。しかし、三重県の加算2の施設での総使用日数（静注用抗菌薬全体、カルバペネム系薬、キノロン系薬（静注および内服））は、全国の他の加算2の施設よりも多い状況であった。
- 三重県内の抗菌薬使用動向を地区別に比較した場合、北勢および中勢のカルバペネム系薬の使用日数が多い状況であることが示された。また、抗MRSA薬では、北勢および南勢地区が多い状況であることが示された。
- 抗菌薬使用日数の経年的変化は、全般的にほぼ横這いで推移していることが示された。